

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	総合的な学習の時間の指導法						授業形態		講義	
科目コード	421170	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人								ICT活 用	○
授業概要	授業の到達目標及びテーマ 総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸能力を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。 この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てる。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っていくのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。 このため、以下の項目を目標として設定する。 (1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。									
関連する科目	1. 教職課程文書調製指図書において目標となつた学生であること。 2. 2年前期までの教職課程開講科目（教職課程履修要項別表7）について履修し単位を修得していること。 3. 2年前期の学科専門科目のうち必修科目は単位修得していることが望ましい。 4. 今後の履修科目を考慮して教養科目・学科開講科目の履修状況を良好としておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	本授業は、講義形式で実施する。一部の回では、受講者をグループ分けし、グループディスカッションや課題発表を予定している。これにより受講生が主体的に学ぶようにする。									
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション～総合的な学習の時間とは～									
授業計画 【第2回】	第2回：総合的な時間の意義を考えよう～将来を支える子供たちに育てるべき力は何か？～ 総合的な学習・探求の時間が必要な背景について考える。									
授業計画 【第3回】	第3回：「総合的な学習・探求の時間」の歴史と意義Ⅰ～現状の課題と導入の背景について～ 総合的な学習・探求の時間の導入の背景について理解する。									
授業計画 【第4回】	第4回：「総合的な学習・探求の時間」の歴史と意義Ⅱ～教育的な意義の理解～ 総合的な学習・探求の時間の意義や原理を理解する。									
授業計画 【第5回】	第5回：学習指導要領における「総合的な学習・探求の時間」～小学校から高校の内容、他教科・道徳・特別活動・課題研究・理数探求の関わりについて～ 小学校から高校の学習指導要領の内容、他教科・道徳・特別活動・課題研究・理数探求との関連性について理解する。									
授業計画 【第6回】	第6回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅰ～全体計画について（テキスト：第2編第1章・第2章）～ 総合的な学習・探求の時間の全体計画の意義や計画手法について理解する。									
授業計画 【第7回】	第7回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅱ～年間指導計画について（テキスト：第2編第3章）～ 総合的な学習・探求の時間の年間指導計画の意義や計画手法について理解する。									
授業計画 【第8回】	第8回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅲ～単元計画について（テキスト：第2編第4章）～ 総合的な学習・探求の時間の単元計画の意義や手法（学習指導案作成を含む）について理解する。									
授業計画 【第9回】	第9回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅳ～評価について（テキスト：第2編第5章）～ 総合的な学習・探求の時間の評価の意義や手法について理解する。									
授業計画 【第10回】	第10回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅴ～体制づくり・環境づくり（テキスト：第2編第6章）～ 総合的な学習・探求の時間の実施体制や環境整備について理解する。									

授業計画 【第11回】	第11回：探究的な学習のあり方Ⅰ～探究的な学習と何か（テキスト：第1編第1章・第2章）～ 総合的な学習・探究の時間の基本となる探究的な学習の意義や方法について理解する。
授業計画 【第12回】	第12回：探究的な学習のあり方Ⅱ～探究的な活動の方法（テキスト：第1編第2章）①～ 総合的な学習・探究の時間の基本となる探究的な学習の方法の概要について理解する。
授業計画 【第13回】	第13回：探究的な学習のあり方Ⅲ～探究的な活動の方法（テキスト：第1編第2章）②～ 総合的な学習・探究の時間の基本となる探究的な学習の方法について実際に取り組んでみる。
授業計画 【第14回】	第14回：総合的な学習・探究の時間と地域学習Ⅰ～地域学・地域振興への視点～ 地域学習マップの発表、総合的な学習・探究の時間に関連する事項の中で今回は地域学習（地域学）・地域振興との関わりについて理解する。
授業計画 【第15回】	第15回：総合的な学習・探究の時間と社会課題Ⅱ・まとめ～現代における諸課題について考える・まとめ～ 総合的な学習・探究の時間に関連する事項の中で今回は現代社会における諸課題について理解する。また、事例としての環境教育（環境問題、SDRs・ESDも含む）について取り上げる。また、総合的な学習の時間についてまとめる
授業の到達目標	総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸課題を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。 この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てるも。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っていくのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。このため、以下の項目を目標として設定する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	予習を行うこと（各1時間） 授業事前課題を準備しておくこと（各1時間）
授業時間外学習【復習】	復習を行うこと（各1時間） レポートなどの作成について準備しておくこと（各1時間）
課題に対する フィードバック	レポートについては、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。提出物・グループワークは、上記返却時に評価のポイントを説明する。テストは、終了後に解説を行い、後日答案の返却をする。
評価方法・基準	①ミニレポート 60点(4点×15回＝60点) ②授業課題：地域学習マップ 10点 ③グループ学習・授業への取組姿勢 10点 ④最終レポート 20点
テキスト	※、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 中学校編（発行所 株式会社アイオフィス 2022/6/23） ①中学校編が発行されたので、中学校編を使用します。各自で、購入もしくは下記のサイトから入手してください。 ②旧学習指導要領を元に販売された版(旧版)がありますので、ご注意ください。発行者が株式会社アイオフィスという会社で、2022年6月
参考書	総合的な学習の時間（新しい教職教育講座 教職教育編）原清浩・春日井敏之・篠原正典・森田真樹 平成29年改訂 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間 単行本 田村 学 小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）（最新版） 中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）（最新版） 高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説（総合的な探究の時間編）（最新版）
備考	